

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	簡易水道運営事業			
予算科目	4 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 水資源の確保			
所管課情報	担当課: 水道課		電話番号(内線): 711	
記入者情報	所属長: 隅田 英久		担当責任者: 長岡 崇	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	簡易水道事業特別会計			
根拠法令等	水道法			
事業の目的	簡易水道事業特別会計へ繰出金。			
事業の内容	簡易水道事業会計の歳入、歳出に不足額に合わせて繰出金を支払う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	修繕履歴など、施設台帳を整備することで、将来の修繕計画を立案し、機器の故障などを未然に防ぐ。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	106,607	104,317	0	96,733
	人件費	1,599	2,033	0	2,033
	合計	0	106,350	0	98,766
人件費 内訳	人工数	0.20	0.25	0.00	0.25
	人件費単価	7,999	8,135	0	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,599	2,033	0	2,033
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	108,206	106,350	0	98,766

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
簡易水道特別会計繰出金	千円	106607	104317		96733
簡易水道特別会計歳入総額	千円	226601	681767		363033

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		100,000	100,000	100,000	60,000	

成果指標				
成果指標	簡易水道事業繰出金÷簡易水道特別会計歳入合計			
指標設定の考え方	簡易水道特別会計事業費における独立採算の割合を数値化することにより費用対効果常に意識する事務の遂行が可能となる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0.55	0.5	0.5	0
実績	0.47	0.27	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	簡易水道施設は、中山間地域に点在しており、また、小規模で老朽化した施設が大半であるため、非常に経営効率が悪く、水道使用料のみでは運営できていないのが現状である。今後においても、一般会計からの繰入の依存度は高くなっていくと思われることから、定期的な設備更新計画を策定し、実施することが必要であると考え。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中山・双海地域の簡易水道施設は中山間地域の各所に点在しており、また各施設とも経年劣化による老朽度が高く維持管理に係る経費も年々増加傾向にあり、また経営効率も非常に低い状況である。当然のこと水道料金収益のみでは経営が賅われておらず、一般会計からの繰入依存度は高いものがあり、今後、更に高くなると推測される。このような状況化にあつて、水道料金の見直し・経営の合理化や施設の統合整備事業に取り組むと共に、今後において必要となる維持管理経費など事業運営に係る経費を把握し、中長期に渡つての財政計画を立て、合理的で効率的な水道事業運営に取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・簡易水道会計への繰入金が増大しており、水道料金の見直し、施設の統合など、中・長期的な対策に取り組む必要がある。・過疎地域共通の問題であり、国・県での財政対策についても要望すべきではないか。・簡易水道事業に関して全体が見えてこない。関連事業を一本にしてみらうのが市民の希望である。・全ての事業をシミュレーションし、償還も含めて示していただきたい。・簡易水道事業とはこういうものであると、一般財源から拠出してくるお金の推移を示していただければと思う。・上水道も簡易水道も使う側としては同じ水道水である。料金が違うのは利用者からするとおかしい。同一料金にすべきだと思う。・ご苦勞な点が明確に伝わってきた。合併してなお課題をどうにか克服しなければならないということだろう。理想論からすると、同じ料金体系が当たり前である。どの地域の住宅にも必ず水があるということではないことも含め、今後の課題として認識いただきたいと思う。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>外部評価の内容を踏まえ、修正すべきところは修正すること。</p>